



～神戸～
 天文年間(1532-1555)に神戸具盛が築城した神戸城。江戸時代には、本多忠統が享保17年(1732)に1万5千石で入城し、明治維新まで本多氏の居城となりました。その城下町として栄えた神戸は、参宮街道の宿場町でもあり、歴史の古い街だけあって、史跡・名刹が数多く残っています。
 また、3月の寝釈迦祭(龍光寺)・7月の石取祭・8月の千手観音開扉(林光寺)など祭礼行事を四季折々に楽しむことができます。

神戸

発行: 鈴鹿市観光協会



- ①②【神戸城跡と神戸公園】
 神戸城は戦国時代、神戸具盛により築かれ、安土桃山時代の初め(天正8年)神戸家養子となった織田信長の三男信孝によって、五層の天守閣が築き上げられたと言われています。ぐるりと堀がめぐる城郭は東西に500m、南北に300mと言われ、現在は「野面積み」の石垣だけが当時を今に伝えています。神戸城跡を含む一帯は、神戸公園として整備され、市民の憩いの場として多くの人に利用されています。
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩15分
- ③④【神戸宗社と石取祭】
 神館飯野・高市神社が合祀して現在の神戸宗社となり、氏子総代がこの合祀を記念して始めたのが、神戸の「石取祭」です。この祭りは、毎年7月下旬に行われ、大勢の人の熱気と興奮で賑わいます。太鼓や鐘を打ち鳴らし、威勢の良い掛け声とともに各町内を練り歩き、8台の山車が神戸宗社に集まりクライマックスを迎える夏の夜をかざる祭りです。
 ・神戸二丁目18-28 ☎382-2140
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩5分
- ⑤【龍光寺と書院】
 「神戸の寝釈迦」で有名な天澤山龍光寺。京都東福寺派に属する禅寺で応永30年(1423年) 称光天皇の勅願寺として伊勢国司北畠重を普請奉行に任じて建立させたものです。
 3月15日前後の3日間は、涅槃図が開帳され、参道には植木屋や露店が並び、多くの参拝者で賑わいます。この期間中は、県文化財指定である数寄屋風書院(坐忘亭)が拝観でき、精進料理も楽しめます。また、本堂の裏手に広がる竹やぶと白壁が続く道を歩いてみるのも風情がたっぷりあります。
 ・神戸二丁目20-8 ☎382-1189
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩5分
- ⑥【観音寺と光明真言板碑】
 元亀元年(1570年)浄土宗として開創されましたが、元応2年(1320年) 銘の「光明真言板碑」の出土により、当時の開創は鎌倉時代と思われる神戸藩主本多家の菩提寺。楼門に「補陀落山」の額がかかり、軒瓦には本多家の家紋が残っています。正面には「思徳之碑」があり、鐘樓の鐘は市内で3番目に古い鐘です。また、3月15日前後の3日間は、県内でただ1つの極彩色で描かれた極楽浄土の絵である「大まんだら」が開帳され、多くの参拝者で賑わいます。
 ※「光明真言板碑」は、市文化財指定
 ※礼の辻という道標が移されています。
 ・神戸二丁目17-9 ☎382-1245
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩3分

⑦【魚半楼の盆梅】

毎年2月20日前後、100年から300年の梅の古木に花を咲かせます。振りそでを着た娘さんの舞い姿のような「乙女の舞」など約80種300鉢以上の盆梅があります。中でも、電が天へ昇るといった気宇壮大な「天竜」は樹齢300年と言われています。
 ・神戸一丁目2-38 ☎382-2035
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩1分

⑧【慎福寺】

3月の初午には100年以上続く「厄よけ護摩祈禱」が行われる慎福寺。この行事は、読経に合わせて金比羅堂前の「護摩だん」にそれぞれの願い事を書いた「ごま木」をくべて、煙を浴びながら祈ります。また、ここは水子の霊を供養するお大師さまのお寺で、年中参拝者が絶えません。又、ぼたんの花の咲く頃には多くの参拝者を魅せています。
 ・神戸二丁目19-8 ☎382-0263
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩7分

⑨【神戸の見付】(県文化財指定)

江戸時代後期に、神戸城下へ入る参宮街道の北の入口に、治安維持のため石垣と土塁を築いて木戸が設けられていました。現在も石垣と土塁が残っており、旧街道に沿って旅籠風の旅館・古い家並みが、ゆるいカーブを描く道に沿って続いており、当時のおもかげを偲ばせています。
 ・神戸八丁目166番地
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩15分

⑩【専修寺神戸別院】

浄土真宗高田派の神戸別院。明治天皇の行在所となった所で、天皇がお泊りになった部屋は、当時のまま使用されずに保存されています。また、高田派の本山は、津市一身田町の専修寺ですが、ここに移る以前は、三日市町がその本拠でした。移転後、その三日市町の寺を牽制するためにこの別院が設けられました。
 ・神戸二丁目3-41 ☎382-2141
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩5分

⑪【神戸四九の市】

毎月4と9のつく日は、「四九の市」といって、龍光寺の山門前で午前中に市が開かれます。露店は7〜8軒で野菜・お花・日用雑貨などが売られています。

⑫【宝珠山地蔵院】

「東海中膝栗毛」の中で弥次さん、喜多さんも地蔵院を拝み、「安穩に火よけ地蔵守るらん夏のあつさも冬の神戸も」と歌に詠んでいます。
 ・地蔵院 神戸一丁目1-3
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩1分



小岐須溪谷 入道ヶ岳

⑬【林光寺と千手観世音菩薩】

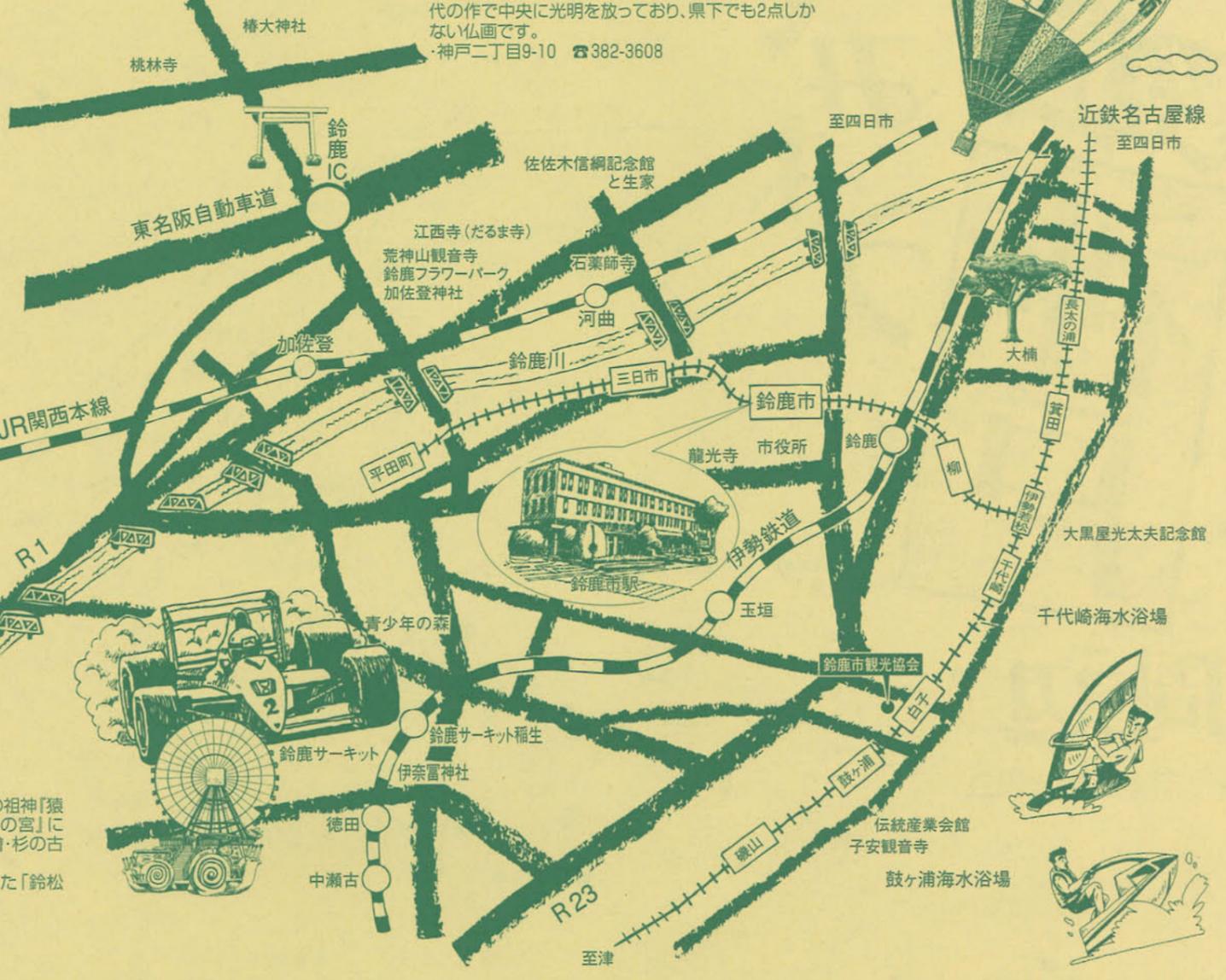
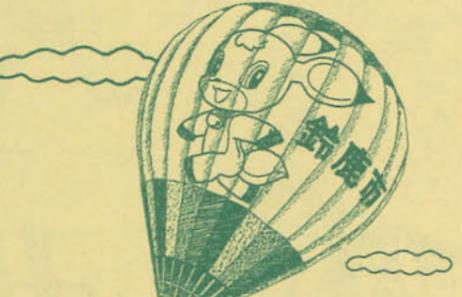
別名「えんま寺」とも呼ばれる金井山林光寺。本堂は天和2年(1682年)の建立。桃山様式で、天井の格天井にも花鳥の彩色画があり、市内でも屈指の古いお寺です。境内には閻魔堂があり、2月16日と8月16日には、「閻魔大王木像」と「地獄絵図」が開帳され、「エンマさん」と呼ばれ参拝者で賑わいます。また、国指定重要文化財である「千手観世音菩薩」は秘仏とされ、一般に開帳されるのは、8月10日午前2時から午前6時までです。
 ・神戸六丁目7-11 ☎382-0610
 ・近鉄鈴鹿市駅より徒歩10分

⑭【願行寺】

享保6年(1771年)神戸町内の161件を焼いたという信濃屋の火事で類焼し、天明7年(1787年)に再建されたと伝えられています。市の文化財に指定されている光明本尊は、南北朝時代の作で中央に光明を放っており、県下でも2点しかない仏画です。
 ・神戸二丁目9-10 ☎382-3608

⑮【神戸城の鯨】

神戸城二之丸の東北隅に神戸城唯一の二重櫓(現在神戸高校正門南西)があり、この櫓にあげられていた鯨一對の一つで二重櫓の鯨と共に文化会館の玄関ロビーに展示されています。この鯨は、高さ1.3m、重さ150kgの青銅製で、頭部に、「勢州神戸城主本多伊予守忠統延享四(1747)年丁卯六月築之」、口辺に、「武州江戸神田住御鋳物大工田村庄右衛門尉藤原安通作」の銘文がそれぞれあります。なお、もう一基は今日不明です。



◆ 市内の見どころ ◆

【樫大神社】
 鈴鹿山系の中央、入道ヶ岳の麓に鎮座し、みちびきの祖神「猿田彦大神」を祀る社の総本宮であり、「伊勢の国一の宮」に定められています。参道の両側には樹齢数百年の檜・杉の古木が立ち並び、おかし難い靈気に満ちています。また、故松下幸之助氏より日本庭園と共に寄進された「鈴松庵」も有名です。
 ・山本町1871番地 ☎371-1515
 ・C-BUS停「樫大神社」下車徒歩1分
 ・鈴鹿Cより車で10分

【獅子神御祈禱神事】
 聖武天皇の勅願によって一層隆盛を極めた「祓」の神事で日本最古の獅子舞神事です。

【桃林寺】
 入道ヶ岳の麓にある「龍雲山桃林寺」は臨済宗東福寺派の禅寺で、海拔200mの山門からは鈴鹿の町並みと伊勢湾をとおして志摩半島、知多半島が一望でき絶景です。精進料理も楽しめます。(予約制)
 ・小岐須町800番地 ☎371-0528
 ・C-BUS停「桃林寺」下車徒歩3分

【荒神山観音寺】
 「荒神山の喧嘩」で有名な、真言宗の荒神山観音寺。また、春日局が寄進したといわれる釣鐘があることで有名です。4月7日の春祭りに火渡りも行われ、多くの参拝者で賑わいます。
 ・高塚町1177番地 ☎379-0331
 ・C-BUS停「荒神山・フラワーパーク」下車徒歩1分
 ・鈴鹿Cより車で15分

【荒神山の火渡り】
 火のついた薪の上を、裸足で火渡りし、厄除けと家内安全を祈ります。

【吉良仁吉の碑】
 慶応2年神戸の長吉と桑名の穴太徳がなわ張り争いで、当山の裏山で約200人が入り乱れて死闘が繰り広げられました。吉良の仁吉と清水一家が長吉に加勢して大勝しましたが、仁吉は28歳の若さで凶弾に倒れた話は映画や浪曲で有名です。仁吉の碑は昭和26年浪曲師大沢虎造が建てたものです。

【江西寺】
 通称「だるま寺」と呼ばれ親しまれている臨済宗金剛山江西禅寺。毎年2月11日に願いを込めてだるまの片眼を開け、願いのかなっただるまは、10月5日に消姿大供養が行われその時に焚かれる「満願の火」は、縁起が良いとされ、多くの参拝者で賑わいます。
 ・深溝町1614番地 ☎374-2796
 ・C-BUS停「深伊沢地区市民センター」下車徒歩2分
 ・鈴鹿Cより車で10分

【加佐登神社】
 日本武尊(ヤマトタケル)を祭神とする加佐登神社。神社の北西には日本武尊のお墓といわれている白鳥塚古墳があり、日本武尊の霊が白鳥になって飛び去ったという伝説があります。境内は紫つつじの名所で、見頃は4月上旬。春祭は4月8日です。
 ・加佐登町2010番地 ☎378-0950
 ・C-BUS停「加佐登神社」下車徒歩5分

【小岐須溪谷】
 鈴鹿川支流の御瀬川が造りだした全長4kmに及ぶ溪谷で、小岐須溪谷山の家付近の「鮎止の滝」を始め多くの滝が点在しています。夏には水遊びをする家族連れで賑わいます。
 ・C-BUS停「小岐須溪谷口」下車徒歩40分
 ・鈴鹿Cより車で20分

【伊奈富神社】
 五穀豊穡、商売繁盛の神様「保食大神」をお祀りしています。境内は別名「つつじ山」とも呼ばれ数千本の紫つつじが群生しています。見頃は4月上旬〜4月中旬。県指定名勝・稲生西二丁目24-20 ☎386-4852
 ・C-BUS停「稲生局前」下車徒歩5分

【子安観音寺】
 「白子の子安観音」の呼び名で親しまれる高野山真言宗の観音寺。ご本尊は、その昔、鼓ヶ浦の海中から、赤ん坊に背負われて現れたという「白衣観世音」安産・子育て・子授けに靈験あらたかで全国各地から参拝者が訪れます。国指定天然記念物「不断桜」や県指定文化財の仁王門・銅灯籠のほか、俳人山口誓子ゆかりの「静思庵」があります。
 ・寺家三丁目2-12 ☎386-0046
 ・近鉄鼓ヶ浦駅より徒歩3分

【大黒屋光太夫記念館】
 江戸時代後期、船で江戸へ荷物を運ぶ途中、嵐に遭いロシアまで漂流し、その後女帝エカテリーナ2世に拝謁し、苦難を乗り越えて日本に戻り、当時のロシアを初めて紹介したことと知られる大黒屋光太夫の記念館です。
 ・若松中一丁目4-1 ☎385-3797
 ・伊勢若松駅より徒歩15分

【鈴鹿サーキット】
 遊園地モーター・国際レーシングコース・プール・ホテル・温泉などがあり、一大モータースポーツリゾートとなっている鈴鹿サーキット。全長約5.8kmの国際レーシングコースはF1グランプリ、8時間耐久ロードレースなどの世界選手権レースから初心者向けレースまで多彩なレースが開催され、モータースポーツファンに熱い興奮を贈り続けています。また、モーターピニアはエンジンで動く乗り物がたくさんあり、子供から大人まで思いっきり楽しめます。そして、2000年にオープンした「コチラちゃんのプッチタウン」や世界各国の本場の味覚を味わえるレストラン、みんなの冒険プール「アクア・アドベンチャー」や天然温泉「クア・ガーデン」など1度では遊びきれないほどの魅力が溢れています。
 ・稲生町7992番地 ☎378-1111
 ・近鉄白子駅より三交バス鈴鹿サーキット行13分

【鈴鹿市伝統産業会館】
 当館は「伊勢形紙」と「鈴鹿墨」という伝統産業を広く後世に残していくことを願って開設されました。展示中の作品は江戸期から現代までの代表作ばかりです。長い年月によって育まれた美しい技をご鑑賞ください。
 ・寺家三丁目10-1 ☎386-7511
 ・近鉄鼓ヶ浦駅より徒歩10分
 ・休館日 毎週月曜日

INFORMATION

【市内の主な公共施設】	【バス・C-BUS】
・文化会館 ☎382-8111	・三重交通中勢営業所 ☎059-233-3501
・市民会館 ☎382-0654	【タクシー】
・図書館 ☎382-0347	・近鉄タクシー ☎386-1161
・体育館(テニスコート) ☎387-6006	・三交タクシー中部 ☎382-1381
・武道館 ☎388-0940	・鈴鹿タクシー ☎378-0118
・西部体育館 ☎371-1476	・日の出タクシー ☎386-1256
・鼓ヶ浦サン・スポーツランド ☎386-3745	・ホンダタクシー ☎378-0346
・佐佐木信綱記念館 ☎374-3140	・名鉄タクシー ☎384-5678
・鈴鹿青少年の森 ☎378-2946	【鉄道】
・鈴鹿スポーツガーデン ☎372-2511	・伊勢鉄道 ☎383-2112
・石垣池運動公園事務所 ☎383-9010	・近畿日本鉄道白子駅 ☎386-0024
・鈴鹿市考古博物館 ☎374-1994	

【神戸でのお泊りは…】

・ビジネスホテル御船	☎382-8221	神戸八丁目 6-11
・御船館	☎382-0177	神戸八丁目 3-25
・油伊	☎382-0451	神戸二丁目10-55
・加美亭	☎382-0117	神戸八丁目19-28
・魚半楼	☎382-2035	神戸一丁目 2-38

【神戸に咲く花・木】

・観音寺	山茶花
・龍光寺	梅・沙羅双樹
・慎福寺	牡丹
・宗休寺	白椿
・矢田部公園	桜
・神戸公園	桜・花しょうぶ
・浄願寺	松の大木

◆お問い合わせ◆

鈴鹿市観光協会 〒510-0241 三重県鈴鹿市白子駅前17-12
 TEL059-380-5595 FAX059-380-5596
 ●鈴鹿市観光協会ホームページ <http://www.kanko.suzuka.mie.jp/>

